




開催地 :
 播種日 : 2
 定植日 : -
 審査日 : 2
 特長
 べと病 R1
 草姿立性で
 り良好。葉色
 新鮮感があ
 穫作業性良
 秋冬まきに
 ▽問い合わせ

※「pick u

早生種を用いた秋どりの栽培。施設（ハウス）を

誠意と確実の表徴



フタバ印

フタバ印のタネ
感動と満足の子
 埼玉県久喜市野久喜1-1
野原種苗株式会社
 電話 (0480) 21-0002(代)
 FAX (0480) 23-5005
 タネは1番・デンワは2番

る。個々の圃場は0・4〜0・8 haと広くなく、毎年移動することににより地力低下を補ってきた。肥料、除草剤や殺虫剤は従来使用されてこなかった。ヤギとヒツジの牧畜も以前には行われていたが、過放牧が土壤荒廃を起すので、連邦土壤保全局の指導により現在は行われていない。

責任感ある接し方

ホビ族に限らずアメリカ先住民は口承によって民族の歴史や教訓・予言を伝えていくが、バランスを失った現代の物質文明や世界大戦に関する警告が彼らの予言に含まれていたことから注目を浴びた。彼らの教訓や予言は、その厳しい環境下で育まれた謙讓、協力、尊敬、土地や自然に対する責任感ある接し方に基づくものである。

その後、彼らの居住地域周辺でウランや石炭な



ホビ族保留地の中心近くにある Kykotsmovi Village (Google map より)

どの地下資源が発見されたため、これらの採掘のために一時彼らの居住権が脅かされたが、採掘企業がホビ族に補償金を支払うことで合意した。前述で紹介した伝統的な農法で耕される農地や農民の数は現在では著しく減少し、住民は主に公共事業や私企業での雇用労働によって生計を立てている。生活様式や食生活も著しく変化し、糖尿病や肥満を患う人々の割合が高くなっていくことである。

ホビ族は多種類（19

30年代の調査では47種類）の山菜を日々の食材と救荒食料としてきたが現在ではほとんど利用されていない (Johnson, Tai Elizabeth, 2016. マリノナ大学博士論文)。先住民の知恵と文化が現代文明に飲み込まれていく状況はこの国でも同様である。

「土」と「壤」の違い

土と生命の関係については、漢字の成り立ちにも表現されている。中国でAD1000年頃、後漢の時代に著された「説文解字」という漢字辞典では「土」という字を次のように説明している。「地之吐生物者也。二象地之上、地之中、物出形也」

すなわち、地が生物を吐き出す様子を表している。「二」は地の上（表層土）と地の中（下層土）を示し、ここから物が出

てくる形を表している。すなわち「土」という漢字は、土が生命活動と深く関連していることを表している。

他方「土壤」の「壤」は「柔土なり。塊なきを壤」と説明されている。すなわち「壤」は土が熟して変化変質したものであり、耕地土壤を示している。

「説文解字」よりもさらに古く紀元前の周の時代に著された書「周礼」には「万物が自生することすなわち、土」とい、人の耕して栽培するところすなわち「壤」という」と書かれている。「土」と日本古代文化」、藤原、1991）。

今度は「生」という字の成り立ちを調べてみると、「説文解字」はインターネットで検索できる「土」という字の中の「一」の画に「U」の字に似た画を重ねて、土から萌え出てきた木に枝や葉が繁る様子を表したものがその本来の形だったようである。すなわち「生」も「土」もほとんど同じ概念のもとに生まれた漢字であった。

人は土から生まれた

私は最初「生」という漢字を見ていて、これは「土」という漢字に「人」という漢字を重ねたものではないかと考えた。残念ながら「説文解字」ではそのような説明はしていなかったが「人は土から生まれた」ないし「人は土に生きる」という概念は人間の深層心理を反映するものとして不合理的ではないと思う。